

2025年度:実施プロジェクト一覧

以下の3つのテーマから、学内で取り組みを募集しました。
今年度は、6つのグループが取り組みを実施します。

I 【特定テーマ型】道の駅「美ヶ原高原」の魅力創出プロジェクト

ーグループ① 二代目森とゆかいな仲間たち

ーグループ② ビケット

II 【テーマ提案型】上田地域 地域活性化・産業振興プロジェクト

ーグループ① 学生消防サークル長野大学分団

ーグループ② Peace Edu.

ーグループ③ ボランティア情報センター

III 【地域企業課題解決型】上田地域企業魅力発信プロジェクト

ーグループ① UEDAハンドシェイク

I 【特定テーマ型】道の駅「美ヶ原高原」の魅力創出プロジェクト

【プロジェクト概要】

美ヶ原高原の道の駅は、標高2,000mに位置し、日本で最も高い場所にある道の駅です。360度のパノラマが広がる展望テラスからは、北アルプスをはじめとする雄大な山々を望むことができます。

一方、高地にあるため営業期間が限られていること、多方面からのアクセスがしにくいなど、高原の道の駅ならではの課題もあります。

道の駅の多機能化が進む昨今、地方創生の拠点としての役割が期待されています。

道の駅「美ヶ原高原」運営会社である[フジランド](#)と協働して、地域資源を活用した道の駅「美ヶ原高原」の活性化につながる企画を学生たちが考案します。

協働先：[フジランド](#)

- [グループ①二代目 森とゆかいな仲間たち](#)
- [グループ②ビケット](#)

I 【特定テーマ型】道の駅「美ヶ原高原」の魅力創出プロジェクト

グループ①二代目 森とゆかいな仲間たち

標高2,000m！日本一高い「道の駅」で「むだ」を取り入れ、心の豊かさを

昨年度からフジランド様と協働して取り組みを進めています。

タスクに追われる現代人に、美ヶ原高原での滞在で「むだ」を適度に取り入れてもらうことによって、心の豊かさを得てもらうこと。また、そんな美ヶ原高原を道の駅美ヶ原高原を中心に、魅力あふれる拠点として構築していくことを目標として、7つの事業展開を提案しました。

([7つの施策](#)・・・Veil:購買の場、Atta!!:探し物ラリー、A tempo:パーソナルスペースの設置など。

施策は今後調整していく中で、変更になる場合があります)

また、今年度は、固有の地域資源であるジビエの利活用についても再検討していきます。

地域経済の要となりうる持続可能な食材としての可能性を活かし、道の駅「美ヶ原高原」ならではの「むだで憩う」空間を、食の領域からも補強できればと考えています。

総じて、道の駅「美ヶ原高原」の魅力と「顧客の思い」の双方にフィットする形で、新たな価値を創出する提案を模索していきます。

I 【特定テーマ型】道の駅「美ヶ原高原」の魅力創出プロジェクト

グループ①ビケット

道の駅「美ヶ原高原」におけるバイカー誘客

道の駅「美ヶ原高原」は、ビーナスラインの終着点であり、ワインディングロードを楽しめるほか、日本で最も標高が高い道の駅として知られています。これらの要素は、バイクツーリストにとって大きな魅力となっています。

そのため、バイクを活用した新たな魅力の創出や誘客の可能性が高い場所と考えられます。本活動では、道の駅「美ヶ原高原」を訪れるバイクツーリストの実態や目的を明らかにし、バイクを活用した観光誘致を推進することを目的としています。さらに、日本国内で未解明のバイクツーリズムの実態についても、この場所を通じて明らかにすることを目指します。

道の駅「美ヶ原高原」に来訪にするバイクツーリストの実態や目的を明らかにするためのアンケート調査、バイカー向けに道の駅「美ヶ原高原」の魅力をPRするポスターの制作、またバイカー向けのフォトスポットの提案などを計画しています。

Ⅱ【テーマ提案型】上田地域 地域活性化・産業振興プロジェクト

【プロジェクト概要】

上田市の地域活性化(産業や地域文化の振興を含む)および地域企業への貢献を目指したプロジェクトを計画し、学生たちの自由なアイデアや発想を生かし、協働先とともに地域や企業が抱える課題の解決に寄与することを目指します。

- [グループ①学生消防サークル長野大学分団](#)
- [グループ②Peace Edu.](#)
- [グループ③長野大学ボランティア情報センター](#)

Ⅱ【テーマ提案型】上田地域 地域活性化・産業振興プロジェクト

グループ①学生消防サークル長野大学分団

学生消防団の認知度向上と防火活動の推進

近年、消防団員の確保が深刻な課題となっており、特に若年層の団員が減少していることが、その要因の一つとされています。

昨年度、大学公認サークルとして設立された本サークルは、長野大学生の消防団員人口の増加を目的として活動してきました。

今年度は新たな部員も加わり、消防団への入団につながる取り組みをさらに推進していきます。消防団の認知度を高めるとともに、学生消防団の魅力を広く伝え、入団者の増加を目指します。また、近年火災が頻発している状況を受け、地域に出向いて防災講座や防災体験を実施し、地域の防火意識を向上させる活動に取り組みます。

さらに、高齢者や児童、障がいのある方々を対象とした出張講座を行い、幅広い世代に防火知識を伝えていく予定です。

協働先：[上田市消防団](#)

新入部員を加え、今年度は消防団への入団につながる取り組みを推進していきます。

Ⅱ【テーマ提案型】上田地域 地域活性化・産業振興プロジェクト

グループ②Peace Edu.

戦後80年、疎開調査のさらなる深化と平和への取り組み

2022年度から続く取り組みです。

山浦ゼミの学生による活動を出発点とし、昨年度からはその活動を引き継ぐかたちで、学生サークル「Peace Edu.」を新たに立ち上げました。

戦後80年を迎える今年は、地元の高校生や関係機関と連携し、平和な社会の構築につながる活動を実践していきたいと考えています。

上田西高校と連携し、フィールドワークを含む平和学習や聴き取り調査を実施する予定です。調査結果は成果物としてまとめ、若い世代へ発信します。また、この成果物を活用し、市内の学校で「語り継ぐ活動」を展開する予定です。

戦争体験者の高齢化が進み、直接お話を聞くことが困難となってきた現在、喫緊に取り組む必要のある課題と言えます。

協働先：上田西高等学校ECC部、上田市遺族会

Ⅱ【テーマ提案型】上田地域 地域活性化・産業振興プロジェクト

グループ②長野大学ボランティア情報センター

「大学生を対象としたボランティア意識の醸成」

～助け合いを学んで福祉のイメージをアップデートしよう～

長野本学のボランティアセンターは、コロナ禍による活動休止期間を経て、2023年度よりボランティア情報センターとして活動を再開しました。

2025年度は、7名のボランティアコーディネーターが中心となり、地域のボランティアと学生をつなぐ役割を担っています。

本プロジェクトでは、大学生のボランティア意識を醸成することを目的に、ボランティア体験会や研修会を実施します。

これらの取り組みにより、ボランティアへの関心を高めるとともに、福祉に対するイメージをアップデートし、いざという時の助け合いや最初の一步を踏み出すきっかけにつなげます。

また、体験会や研修会ではアンケート調査を行い、参加者のボランティア意識の変化などを把握することで、活動の効果測定を行う予定です。

協働先：[長野県社会福祉協議会](#)

学生が福祉への関心やボランティアに繋がる行動の一步を踏み出すきっかけづくりを目指します

Ⅲ【地域企業課題解決型】上田地域企業魅力発信プロジェクト

【プロジェクト概要】

上田地域内の就職率向上は、喫緊の課題となっています。多くの企業が、学卒人材の確保をはじめ、若年者の雇用や人材定着に関する課題を抱えています。

「上田地域企業魅力発信プロジェクト」では、学生たちの自由なアイデアや視点を活かし、上田地域の企業の魅力をパンフレットや動画などのコンテンツとして制作・発信します。

この取り組みにより、一人でも多くの学生が上田地域の企業に関心を持ち、地域での就職につながることを目指します。

➤ グループ①UEDAハンドシェイク

Ⅱ【テーマ提案型】上田地域 地域活性化・産業振興プロジェクト

グループ①UEDAハンドシェイク

地域企業をもっと知ろう！SNS動画で魅力を発信

長野大学には県外出身の学生も多く、地域企業について知る機会が限られているのが現状です。そこで、学生が企業を知り、自らの視点でその魅力を発信することは、就職活動においても有意義な取り組みと言えます。

地域企業を広く周知する手段として、SNS動画を活用し、その魅力を発信します。SNSを活用することで、学生のみならず他世代にも地域企業の情報が広がり、認知度の向上が期待されます。

2024年度取材先：[株式会社地元カンパニー](#)、[株式会社R&Cながの青果](#)、[松山株式会社](#)

2025年度：上記に加えて、上田市内からを新規選定して行う予定です。